

**取組内容** PTAの委員会が中心となり、保護者が子どもが生まれた時の喜びや、これまでの思い出、未来への激励などをエッセイ集としてまとめました。

## 保護者から

「大好きなあなたへ」

その日は、あなたのお兄ちゃん二人が通う幼稚園の遠足の日でした。お父さんとお兄ちゃん達は、遠足に行く準備をして、私とあなたの待つ助産院へとやって来ました。お弁当に入らなかったごちそうを待合室に広げて朝ご飯にしていましたね。午前7時53分無事あなたが生まれ、お兄ちゃん達は遠足に行きました。

お父さんは待望の女の子に喜んでその場で命名の色紙に今まで温めていた名前を大きく書きました。そして、嬉しくて幼稚園の先生やみんなに報告してまわったそうです。

忘れられないあなたの優しさエピソード！2歳の誕生日を機に、おっぱいを卒業させようと、バンソウコを胸に貼っておきました。おっぱいをせがむので「お母さん、痛い痛いになったの」って見せると、あなたはびっくりしてその後すぐに私をいたわるように背中をさすってくれました。予想外の事に私もびっくり。なんて優しい子なの！そこがきっかけですんなり断乳できました。これからもみんなにその優しさを与え続けてください。

## 生徒の感想

自分の母が書いたエッセイがありました。読んでいるうちに涙があふれそうになりました。文面から私を大切にしていることが伝わってきて幸せな気分になりました。

私は私として生まれてくることができ、良かったと思いました。私が悩んだり苦しんだりしている時には、両親も同じように感じているのかもしれないと思うようになりました。

もう高校生になり、数年後には大学生です。独り立ちする時間が近づいていますが、それまでの親との時間を大切にしたいと思います。「生んでくれてありがとう」



## 「いのちを大切にできる教育」をさらに推進するために！

- これまでも行ってきた「いのち」に係る取組を、改めて「いのちを大切にできる」という視点を持ち、意識的に行いましょう！
- 全教育活動において、「いのち」に関連する場面があったら、各教科、特別活動など様々な機会を捉えて指導しましょう！
- まずは、教師自身が「いのちの大切さ」を実感し、そのことを子どもたちに伝えていきましょう！

他にもいくつかの実践例を、教育ネットひむかのHPに掲載しています。来年度の実践の参考にしてくださいね！



## 「宮崎県いのちの教育週間」



宮崎県「いのちを大切にできる教育」

～実践例～ 令和元年度版

7月1日から7日は「宮崎県いのちの教育週間」です！

## 「いのちの教育週間」

夏休み明けに子どもたちが元気に、そして笑顔で登校できるよう夏休み前の7月1日から7日を「宮崎県いのちの教育週間」と設定しました。各学校で、この週を中心に「いのちの教育」を重点的に行うことで、県下一斉に「いのちの大切さ」について考える機会としました。

## 目指す子ども像

- 生まれてきてよかったと思い、いのちにかかわるまわりの人・ものに感謝する子ども
- 自分のいのちを大切に、いのちいっぱい生きる子ども
- いのちがつながっていることを実感する子ども



## 事例1

## 参観授業での取組 (椎葉村立不土野小学校)

参観授業に合わせて「いのちの教育」を行い、生命尊重に関する授業を実施しました。

**取組内容** 1・2年生(自分の成長)、3・4年生(つながっている命)、5・6年生(精いっぱい生きる)をテーマにして授業を行いました。



保護者と連携して、児童が幼い頃に使っていた洋服や小さい頃の様子を書いた手紙を準備し児童に提示することで、自分の成長について考えます。

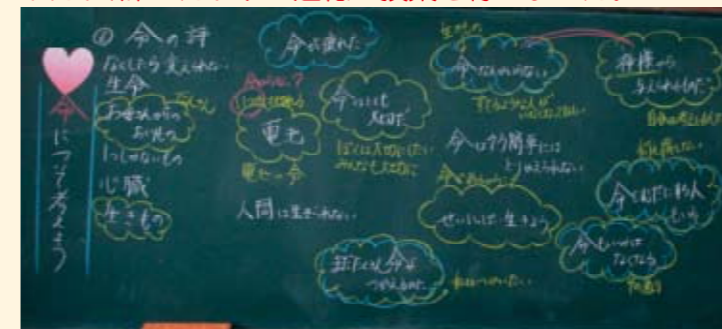
ここまで成長した喜びや自分を支えてくれた人達への感謝、そしてまわりの友だちを大切にしようとする心情を育みます。

## 事例2

## 道徳科での取組 (延岡市立恒富小学校)

『命の詩 ～電池が切れるまで～』 (小学校5年生 道徳科の授業)

**取組内容** 宮越由貴奈さんは院内学級での理科の授業の後、命の詩を書きました。そして、詩を書いた4ヶ月後に亡くなりました。詩を読み、命についての価値観を広げたり、深めたりする道徳の授業を行いました。



由貴奈さんが書いた詩と絵 (宮越由貴奈さん保護者提供)

## 事例3 安全教育の取組 (宮崎市立東大宮小学校)

### いのちを守る着衣水泳

**取組内容**  
水難事故により亡くなっている人の8割が衣服を着用した状態です。いのちを守るために、衣服が体にまとわりついて、衣服を脱がずに浮いて待つ方法を学びました。



## 事例5 部活動と連携した取組 (高千穂高等学校)

### 放送部や書道部と連携した取組 (朝の10分間)

**取組内容**  
5日間にわたり、朝の10分間に「いのちを大切にする教育」の取組を行いました。

7月1日 いのちの教育週間の趣旨説明  
歌「プレゼント／セカイノオワリ」の放送  
書道部生徒が手書きした歌詞の配付 (第80回NHK全国学校音楽コンクール課題曲)

2日 コミュニケーションに関するエッセイを読む

3日・4日  
放送部による朗読  
「あきらめないであなたの夢を」①・② (盲目のカウンセラー 西亀真さんのエッセイ)

5日 一行詩「生命 (いのち) の声」製作 (公益社団法人みやざき被害者支援センター)

一年 水戸悠月さん  
私が色々あって泣いた時、大好きな友達がただ一言言った「大丈夫 味方だから」と。余計溢れ出てくる涙。

一年 興沼杏美さん  
弟は生まれつき体が小さい。でも、弱音を吐かず、毎日努力する。君の心は、誰より大きい。



## 事例4 図書室の取組 (宮崎市立小戸小学校・川南町立多賀小学校)

### いのちに関する本を集めた図書コーナー

**取組内容**  
いのちの教育週間に、いのちに関する絵本や小説を集め、特設コーナーを設けました。



## 事例6 コミュニケーション活動の取組 (明星視覚支援学校)

### 「傾聴」と「自己開示」の方法を学ぶ

**取組内容**  
「聴いて話して、話して聴いて」と題して、コミュニケーションの技術をゲーム (NASA チームビルディング) を通じて学ぶ授業を行いました。

①学習のねらい  
相手を尊重し、自分も心を開いたコミュニケーションの心地よさに気づく

②トーキングゲーム  
・意見を一つにまとめるプロセス体験に、主体的・協動的に取り組むことで、多様性を発揮しつつ、相互に関わりながらゲームに取り組む。  
・話し合いのルール『明星ルール』を決め、活動を行う。

- 話し合いの『明星ルール』【参加者の心得】
- 1 どんどん意見を言う。
  - 2 感情的な意見を言わない。
  - 3 自分の考えを押しつけない。
  - 4 人の意見をしっかり聞く。反対でも賛成でも、賛同するときには相手を向いて、うん、うんとうなずく。
  - 5 反対意見があれば代わりになる意見を用意する。
  - 6 決まったことには協力する
  - 7 意見を求められたら「特にありません」「えっ」などは言わない。

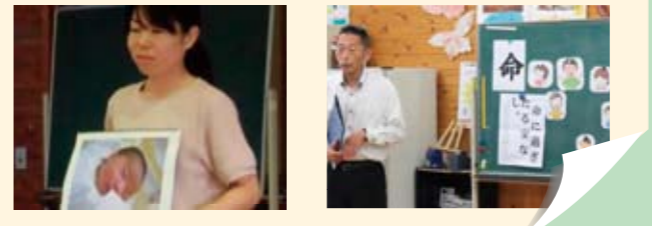
『言葉は相手を良い方向にも悪い方向にも導いてしまうものです。どん底にいる人を立ち直らせることもできるし、人の命を奪ってしまうこともある。ただ、使い方によっては「魔法」になります。相手を前向きにできる「魔法」です。』  
飯野高校「命の週間たより“フィリア”より」  
○飯野高校では、教職員よりいのちに関するエピソードを集め便りとして発行しています



## 事例7 集会等での取組 (串間市立大平小学校・椎葉村立尾向小学校)

### 教師自身の体験を「いのちの教育週間」に集会等で伝えました。

**取組内容**  
いのちの教育週間に集会を行い、教師自身が、子どもとどのような思いでこれまで過ごしてきたか、困った時には大人にSOSを出してほしいと伝えました。



## 事例9 各教科でいのちをテーマに授業を行った取組 (日南市立鶴戸小中学校)

### いのちの教育週間で、各教科でいのちを題材にした教育内容を実施し「いのちの大切さを考える集会」で歌の発表と標語や詩・短歌・俳句について意見交換を行いました。

**取組内容**

**国語科** 生命尊重に関する詩や標語等の作成を行い、展示したり、学級活動や道徳科の時間に活用したりした。

**音楽科**  
「いのちの歌 / 竹内まりや」の歌詞の意味を考えながら、歌詞に合った表現を工夫して歌いました。そして、全校集会でみんなまで歌いました。

**道徳科** 1・2年生「しんもえだけ」新燃岳の噴火の話を通じて、命の大切さや命を守ることにについて考えた。



**図画工作科** 人権に関するポスターを作成、感想の交流を行う。

**特別活動** 自他の命がかけがえのないものであることを実感させ、命を大切にしようとする意識の高揚を図り、「いのちの大切さを考える集会」を実施した。



## 事例8 動物愛護センターの取組 (小林市立細野小学校 等)

### 人と動物の共生する社会の実現や「いのち」を守り・育て・つなぐための動物への関わりを学びました。

**取組内容**  
動物愛護センターはモデル校、協力校を指定し、獣医師や専門の先生からの授業を受けています。センターでは、保護されている動物とふれあう活動もあります。

